

>> 究極のオーダー住宅 33軒

# ML

## MODERNLIVING

[モダンリビング]

建築家の自邸

内藤 廣 / 野生司義光 / 五十嵐敏恭

藤森照信・実家改築プロジェクト

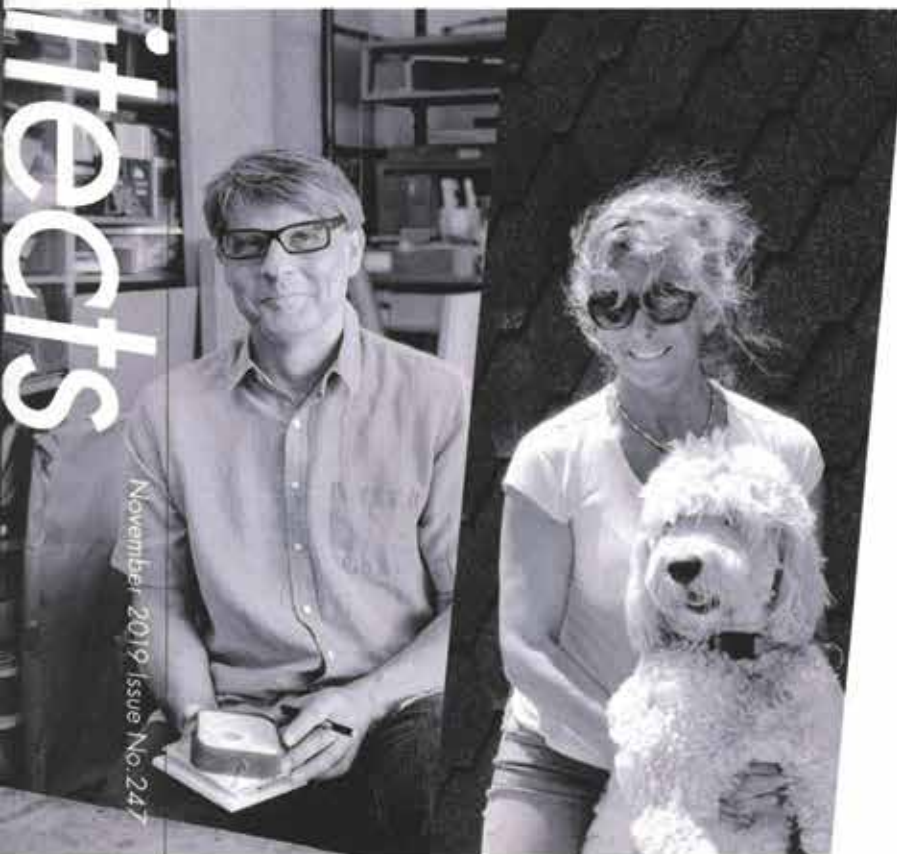
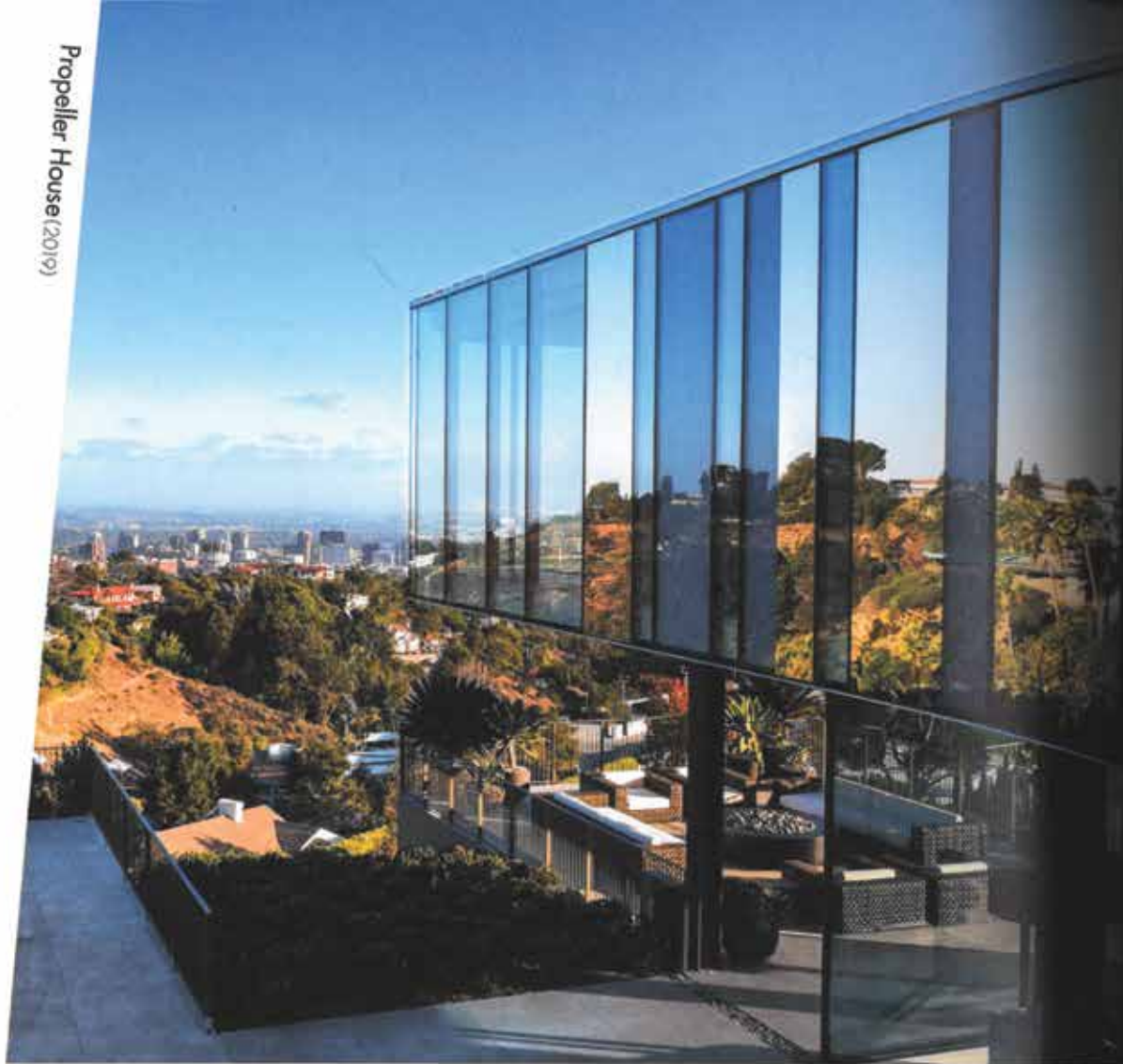
未来を担う若手建築家

オーダーだからできる、最高に贅沢な空間!

# 無二の住宅

“自分らしさ”を  
詰め込もう!

心をOFFにできる家  
“エシカル”な小物



name :

**Zoltan E. Pali**

ゾルタンE.パリ(左)

**Judit M. Fekete-Pali**

ジュディットM.フェケータ・パリ(右)

office :

SPFアーキテクト

country :

アメリカ

国境を超えて世界各国で活躍する、まさに今、  
押さえておきたい注目の建築家と

その作品を紹介する連載「ワールド・アーキテクト」。

第8回は、アメリカ・ロサンゼルスを拠点とする

SPFアーキテクトを主宰する2人に注目。

豪邸などその活躍について、淵上正幸さんをご紹介します。

監修・文/淵上正幸(建築ジャーナリスト)

この人たちのその他の作品は？

建築家・Zoltan E. PaliとJudit M. Fekete-Paliについて



📍 ダイナミックかつスタイリッシュな邸宅は、まさに夢の結晶 📍

4

「ジーリング・レジデンス」

(2012年 ロサンゼルス/アメリカ)

太平洋岸とサンタモニカ山脈の麓近くに位置し、道路側の湾曲した木製ファサードが特徴の836㎡の住宅。その湾曲が反映された反対側のリビングからはゲッティ・ヴィラが望見できる。

写真/Bruce Damonte John Linden

3

「ケイバーヒル・レジデンス」

(2009年 ロサンゼルス/アメリカ)

山の尾根に沿った細長い難しい場所に立つ。この住宅は、道路側を2層とし閉鎖的なファサードとしている。谷側は3層のガラス張りとなり、ビバリーヒル・キャニオンの眺望を満喫できる。

写真/Matthew Mombberger John Linden

2

「オーバーフェルド・レジデンス」

(2012年 ロサンゼルス/アメリカ)

敷地はロサンゼルス市のナイチンゲール・ドライブの急斜面。ロサンゼルス盆地への景観を損ねない5.4mの高制限があり、約1.8m斜面の敷地を掘り下げた、2階建て836㎡の白い住宅。

写真/Bruce Damonte

1

「ダブル・スティック」

(2015年 ロサンゼルス/アメリカ)

ビバリーヒルズの住宅地に位置する平屋で465㎡の住宅は、伝統的なマウンテン・キャビン(山小屋)を参照し、長い庇を左右に出してロサンゼルス市のダウンタウンが一望できる素晴らしい。

写真/Roland Halbe

## Profile

ゾルタンE.パリ/アメリカ、ロサンゼルス生まれ。UCLA卒業後、ケース・スタディ・ハウスで有名なJerrold E. Lomax事務所に勤務。

若くしてAIA(アメリカ建築家協会)のフェローに指名される。1990年ジュディットM.フェケータと共にSPFアーキテクトを設立。

ジュディットM.フェケータ・パリ/アメリカ生まれ。ハンガリーのペーチ大学で建築を学ぶ。1990年ゾルタン氏と共に事務所を創設し、クリエイティブ・ディレクターとして活躍。その他にも、2007年に創設したSPFギャラリーのキュレーターとしてアートと建築間のシンボルに焦点をおいた展示を行っている。

SPFアーキテクトとは…… 1990年設立。ロサンゼルス市のワシントン通り、ビバリーヒルズをまっすぐ南に下った方面にある建築事務所。多数の受賞歴がある作品は大小さまざま。ビバリーヒルズやサンタモニカの高地に位置する豪華な住宅群のデザインを得意とするが、「ゲッティ・ヴィラ」などの有名作品も手掛け、近年はスケールの大きな作品も展開。建築デザインの基礎には、強いプラグマティックで総体的な哲学がある。事務所を牽引するゾルタンE.パリは、事務所として80以上の受賞をしている。

## ☎ 真のゴージャスを体現した 居住性と絶景を堪能できる 軽快かつ上品な邸宅 ☎☎

□ サンゼルス市のベル・エアー。ピバリーヒルズの北西に位置するヒル・トップに完成したのが「プロペラ・ハウス」だ。丘の上に浮遊しているような約1,750㎡の住宅は、3翼のプロペラ形プランを持っている。デザインコンセプトは環境に埋没することがテーマ。この住宅はガラス張りで、ロサンゼルス湾を見晴らすワイドな景色が素晴らしい。ゲッティ・センターからロングビーチ、センチュリー・シティ、そしてロサンゼルスダウンタウンとワイドな景観は圧巻だ。

クライアントはゴージャスな家を希望。というのは、施主であるオウラム女史は大家族を持ち、大きなイベントを開催することが多いからだ。さらに気持ちの良い家というのも必須条件であった。そこで考えられたのが、この家の空間群が、容易に次々とつながっていく空間の連鎖。3つのプロペラの合流点にはダイナミックなスチールとガラスの階段を設え、この巨大な家の視覚的な方向性をひと目で把握できる工夫がなされている。

実際に建物は3棟がすべて地下1階・地上2階建ての構成。1階はエントランス、集会などの共同スペースで、2階部分は同家のプライベート空間となっている。2階のうち南西部と南東部は、マスターベッドルームとミニマスターベッドルームがあり、共にロサンゼルス市街や太平洋を270度のワイドアングルで楽しめるという素晴らしい。さらに北側の棟には小さな2つのベッドルームが配されている。

2階レベルのガラス・カーテンウォールには、スイスの会社と開発した4種類の透明度を持つソフィスティケートされたガラスを採用した。それはミラー、オパーク(くすんだ)、半透明、透明の4種類のガラスで、そのアンサンブルにより、住宅は視覚的に無限の変化をするきらめくファサードとなっている。キャンティレバーで浮いた透明度のある軽やかな住宅は、ジュエリー的な輝きに満ちた佇まいが上品な印象を醸し出している。

### DATA

#### Propeller House / プロペラ・ハウス

- 設計: SPF architects
- 延床面積: 1,750㎡
- 竣工年: 2019年
- 写真: Matthew Momberger

1 1階外部からリビング越しに中央階段方向を見通す。2 2階のベッドルームと演奏する広いテラス。3 広い1階の共同スペースから見晴らすロサンゼルス市のナイトビューは圧巻。4 3つの翼を持つプロペラ・ハウス夜景。p.049 はるかロサンゼルス市街を見晴らすキャンティレバー棟に自然が映り込む。



作品名

## 「Propeller House」

プロペラ・ハウス (2019)

